

大阪府の橋下徹知事が5日に打ち出した「大阪維新大阪維新プログラム案」(維新案)。障害者や命にかかわるものは配慮したとしますが、主な府民生活関連施策をみます。

### 通常の授業に大きな支障も

「日常の普通の授業ができなくなる事態も生まれます」。大阪府立高等学校教職員米山幸治書記次長は危機感を募らせます。「維新案」で来年度から教務事務補助員が廃止とされているからです。「印刷や実験器具の管理など、多忙化する教育現場で教師が通常の授業を行ううえでなくてはならない人と米山さんは強調します。校長を含め、存続を求める1万人以上の署名が集まっています。

教育分野では府民の世論をうけて小学1、2年生の35人学級は維持しました。しかし、それに伴う府単独加配の371人の教員は削減を打ち出しています。

小学校と支援学校に配置されている警備員配置への補助は今年度までとし、来年度からは交付金化を検討します。

## 大阪維新案

### 35人学級(小学1、2年生)

制度は継続。集団学習の適正規模について検討。09年度は単独加配教員371人を削減

### 時間講師・府立学校教務事務補助員等雇用費

08年度は賃金4%縮減(8月以降)。09年度以降に時間講師を20%縮減し、教務事務補助員等は廃止

### 教育関係非常勤職員費

08年度は賃金6%縮減(8月以降)。教育専門員は09年度は新規任用せず

### 学校安全総合支援事業(公立小学校・支援学校に警備員配置)

